HOZAN

『作業用具・工具』　抵抗値管理作業手順書

RCJS-5-1付属書Aに基づいた測定法

判定基準　RCJS-5-1に基づく

要求されるグラウンド可能接続点への
抵抗Rg[Ω]
$Rg<1\times10^{12}$

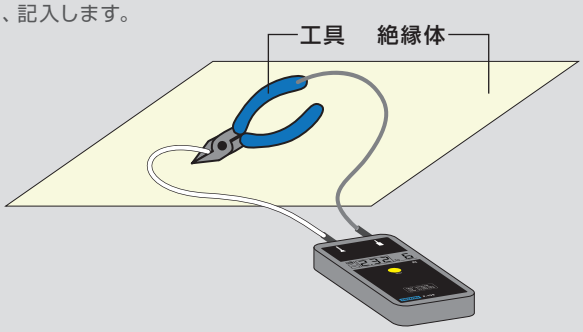
※ 1×10^{10}を超える抵抗の場合、別途、電荷減衰時間測定を行うことが推奨される。

点検手順

※下記手順はF-109-1 表面抵抗計(電極なし)の使用を想定したものです。(使用方法は取扱説明書をご覧ください。)
※測定結果が1×10^{10}Ωを超える場合、チャージプレートモニター(F-237など)を使用し、電荷減衰時間の測定を行うことをおすすめします。

まずはじめに、室内の温度、湿度を測定し、記録用紙に記入します。
正確な測定結果を得るために一度測定スイッチを押し、ディスプレイに【bat】が表示されていないことを確認してください。
【bat】が表示される、ディスプレイ表示が点滅する、測定値が表示されないといった場合は新品の電池に交換してから測定を開始してください。

① F-109の測定モードを取扱説明書に従い【測定値ホールドモード】に切り替えます。
② F-109に接続コードをつなぎます。
③ 測定スイッチを長押し(0.5秒以上)して、電源をONにします。
　2本の接続コードの先端同士を触れさせ、ディスプレイに「9.00×10^{2}Ω」が表示されることを確認してください。
　上記以外の値や値が安定しない場合は、コードの断線が考えられます。コードを交換してから測定を開始してください。
④ 測定する作業用具・工具を絶縁シートの上に置きます。
⑤ 適宜ワニグチクリップを使用し、接続コードを作業用具・工具の基板や電子部品が触れる部分と、
　手が触れる部分(グラウンド可能接続点)につなぎます。
⑥ 測定スイッチを押します。
⑦ 測定開始から15秒後に（測定値が固定された後に）測定結果を読み取り、記入します。



HOZAN

『作業用具・工具』　点検記録用紙

点検日	年　　月　　日		
部　門			
測定者			
温度	℃	湿度	%

F-109　表面抵抗計
機器管理No.

校正日
年　　月　　日

管理者

判定基準　RCJS-5-1に基づく

要求されるグラウンド可能接続点への抵抗Rg[Ω]
$Rg<1\times10^{12}$

※ 1×10^{10}を超える抵抗の場合、別途、電荷減衰時間測定を行うことが推奨される。

番号	測定対象	グラウンド可能接続点への抵抗値	結果	備考
例	D-91-00　No.1	2.00×10^10	(可)・否	電荷減衰時間測定へ
1		□.□□×10^□□	可・否	
2		□.□□×10^□□	可・否	
3		□.□□×10^□□	可・否	
4		□.□□×10^□□	可・否	
5		□.□□×10^□□	可・否	
6		□.□□×10^□□	可・否	
7		□.□□×10^□□	可・否	
8		□.□□×10^□□	可・否	
9		□.□□×10^□□	可・否	
10		□.□□×10^□□	可・否	
11		□.□□×10^□□	可・否	
12		□.□□×10^□□	可・否	
13		□.□□×10^□□	可・否	
14		□.□□×10^□□	可・否	
15		□.□□×10^□□	可・否	
16		□.□□×10^□□	可・否	
17		□.□□×10^□□	可・否	
18		□.□□×10^□□	可・否	
19		□.□□×10^□□	可・否	
20		□.□□×10^□□	可・否	

ホーザン株式会社